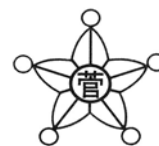


菅原小だより

第8号



枚方市立菅原小学校
校長 牧野 好秀

令和3年度 学校教育自己診断 集計結果 〈保護者アンケート〉 その1

昨年12月に実施しました学校教育自己診断（学校アンケート）にご協力をいただき、誠にありがとうございました。本アンケートの集計結果を以下の通り、ご報告いたします。

アンケートの各質問項目に対して「A：そう思う B：やや思う C：あまり思わない D：思わない」の4段階評価でご回答いただきました。下記の表は、回答結果の数値の小数点以下を四捨五入し、百分率で表示しています。また、「A：そう思う B：やや思う」を肯定的評価として、合算（A+B）した数値を表の右端欄に表示しています。尚、四捨五入した数値の表示のため、合計数値が100%になっていない質問項目がありますが、ご了承ください。

A：そう思う B：やや思う C：あまり思わない D：思わない

質問	A	B	C	D	A+B	
1 学校は、学校からの通信やホームページ・ブログ等を通じて、学校の取組や子どもの様子を積極的に発信している。	56	38	5	1	94	
2 学校は、保護者・地域と連携している。	44	47	9	0	91	
3 子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。	58	36	4	2	94	
4 子どもは、自分には良いところがあると思っている。	56	38	6	0	94	
5 学校は、落ち着いた雰囲気の中で授業を行っている。	41	45	12	1	86	
6 学校は子ども達の学力を向上させるために取り組んでいる。	47	47	6	0	94	
7 先生はわかりやすい授業づくりに努力している。	58	36	6	0	94	
8 学校は、タブレット等のICT機器を使ったわかりやすい授業を行っている。	45	44	9	1	89	
9 子どもはタブレットを活用した授業はわかりやすいと言っている。	40	45	14	2	85	
10 先生は子どもの意見や考えを大切にしている。	59	35	6	0	94	
11 学校は学校行事（校外学習、運動会、授業参観等）を工夫して行っている。	64	32	4	0	96	
12 学校は、災害や不審者の対応について避難訓練等で指導している。	54	42	4	0	96	
13 学校は、児童の安全や事故防止に努力している。	45	47	7	0	92	
14 学校は全ての教育活動において、子どもの人権を尊重する姿勢で指導にあたっている。	44	51	6	0	95	
15 先生はいじめのない学校づくりに取り組んでいる。	44	49	7	0	93	
16 子どもは家で、学校の授業の復習をしている。	23	29	31	17	52	
17 子どもは家で、自分で計画を立てて学習している。	19	27	34	20	46	
18 タブレットを活用した家庭学習が出されている。	32	37	22	9	69	
19 子どもは家で「学習」の時間を決めている。	21	34	27	18	55	
20 子どもは学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしていますか。（学習塾や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます。） ①3時間以上 ②2時間以上、3時間未満 ③1時間以上、2時間未満 ④30分以上、1時間未満 ⑤30分未満 ⑥全くしない	①	②	③	④	⑤	⑥
	3	3	26	44	19	5

《アンケート結果についての考察》

1. 学校教育活動全体について

設問1から設問15 学校教育活動内容の発信や肯定的回答（A+B）の平均数値は、92.5%と評価をいただいています。その結果の数値は、昨年度の同様内容の質問に対する結果平均より上昇しています。そのことについては、本校教職員と子どもたちとのより良い信頼関係のもと、前向きに取り組みを進めてきたことや保護者の皆様のご理解、ご協力のもと、より良い連携で進めてくることができたお陰と感謝申し上げます。

2. 確かな学力の育成について

(1) 学校での学習状況について

肯定的評価 (%)

設問 5 「学校は、落ち着いた雰囲気の中で授業を行っている」	86 %
設問 6 「学校は子ども達の学力を向上させるために取り組んでいる」	94 %
設問 7 「先生はわかりやすい授業づくりに努力している」	94 %
設問10 「先生は子どもの意見や考えを大切にしている」	94 %

設問6, 7, 10について、教員が「わかりやすい授業」をめざし、工夫して授業に取り組んでいる姿勢等を評価していただいていると嬉しく思います。
ただ、設問5については、昨年度より肯定的評価は上昇していますが、落ち着いた雰囲気の中で授業を行い、学習に取り組むことは、重要なこととありますので、全教職員でその状況の確認及びさらなる改善、向上に向けて、取り組んでまいりたいと思います。

設問 8 「学校は、タブレット等のICT機器を使ったわかりやすい授業を行っている」	89 %
設問 9 「子どもはタブレットを活用した授業はわかりやすいと言っている」	85 %

教員は、タブレット使用については、子どもたちが興味・関心を抱くよう、工夫し、活用しています。加えて、その活用方法の工夫・改善については、教職員間で共有し、さらに興味・関心を高め、わかりやすい授業をめざしているところですが、今後も、ICT機器の効果的な活用についての工夫に努めてまいります。

(2) 家庭での学習状況について

設問16 「子どもは家で、学校の授業の復習をしている。」	52 %		
設問17 「子どもは家で、自分で計画を立てて学習している」	46 %		
設問18 「タブレットを活用した家庭学習が出されている」	69 %		
設問19 「子どもは家で「学習」の時間を決めている」	55 %		
設問20 「普段（月～金曜日）、1日あたりの家庭での学習時間どのくらいですか。」			
①3時間以上	3 %	②2時間以上、3時間未満	3 %
③1時間以上、2時間未満	26 %	④30分以上、1時間未満	44 %
⑤30分未満	19 %	⑥全くしない	5 %

家庭での学習状況については、回答数値がかなり厳しい状況となっています。学校としても、家庭学習についての子どもたちへの丁寧な指導を行い、子どもたち自ら家庭で学習に取り組むことができるよう働きかけていきたいと思ひます。
学期に一度提出していただいている「生活ふりかえりカード」の記載内容では、家庭での学習時間が1年生から4年生では30分以上60分未満が最も多く、5年生や6年生となると、60分以上から90分未満が最も多くなっています。高学年になると、内容が少し難しくなることや学習への意識・意欲が高まっていると判断できます。また、3年生から6年生で行っています自主学習ノートについては、高学年へと学年が上がる程、丁寧に、また工夫して取り組んでいます。保護者の皆様と共に、子どもたちが、自主的に、意欲的に取り組めるよう、働きかけていきたいと思ひます。家庭学習の取組には、ご家庭の協力が必要となります。今後も引き続き、ご協力をお願いいたします。

3. 豊かな心の育成について

肯定的評価 (%)

設問11「学校は学校行事(校外学習、運動会、授業参観等)を工夫して行っている」	96%
設問14「学校は全ての教育活動において、子どもの人権を尊重する姿勢で指導にあたっている」	95%
設問15「先生はいじめのない学校づくりに取り組んでいる」	93%

設問11, 14, 15 いずれの設問に対しても、高い肯定的評価をいただき、どの設問内容もとても重要であり、身の引き締まる思いです。今後も、我々、教職員と子どもたちとの温かな人間関係、信頼関係のもと、すべての教育活動を通して、基本的な生活習慣や規範意識、自己有用感、充実感、周囲の人たちと協調・協力する気持ち、思いやる心など、豊かな心(人間性)を育むよう努めてまいります。また、道徳教育や生活指導等を通じて、子どもの自律性や自治能力の育成を図りながら、子ども同士の豊かな人間関係構築のために必要なコミュニケーション能力の育成にも努めてまいります。

4. 安全、安心な学校づくりについて

設問12「学校は、災害や不審者の対応について避難訓練等で指導している」	96%
設問13「学校は、児童の安全や事故防止に努力している」	92%

これまでも様々な災害や万一の事故等が発生した場合、生命や心身等の安全を最優先に迅速かつ適切な対応し、被害を最小限に抑えることのための避難訓練や教職員研修等を実施してまいりました。今後も、平常時から安全な環境を整備するとともに、事件・事故の未然防止のための危機管理や発生時の状況に応じた的確な判断力や機敏な行動力等の対応能力を高めることができるよう、研修の充実を図っていきます。

設問14「学校は全ての教育活動において、子どもの人権を尊重する姿勢で指導にあたっている」	95%
設問15「先生はいじめのない学校づくりに取り組んでいる。」	93%

子どもたちの人権を尊重することやいじめのない子どもたちが安心して過ごせる学校づくりはとても重要なことでもあります。教職員と子どもとの信頼関係のもと、温かい環境の中で、人権を尊重し、安全で安心して過ごすことができる学校づくりに努めてまいります。また、子どもたちに人権意識や規範意識を身に付けさせるとともに、豊かな人間関係の中で、自己肯定感を高めたり、自尊感情を育んだりする指導を大切にし、教育活動を進めてまいります。特に、いじめ問題については、子どもたちの言動の変化やいじめのサインを見逃さないように努めてまいります。気になることがありましたら、遠慮なくご連絡ください。真摯に対応してまいります。

5. 文章記入でいただいたご意見について

文章記入にて、様々にご意見をいただき、誠にありがとうございます。そのいただいた中より全体に係ることについて、現時点でお答えできることをご報告させていただきます。また、その他のご意見についても、今後、改善に向けて検討していきたいと思っております。

(1) 授業について

- ・授業については、新学習指導要領に則り、子どもたちに「生きる力」を育むことをめざし、子どもたちの発達段階を考慮し、創意工夫しながら、基礎的・基本的な知識及び技能を習得することができるよう取り組みを進めています。また、現在、求められている課題を解決するために必要な「思考力・判断力・表現力」等を育むと共に、主体的に学習に取り組む姿勢・態度を養えるよう教育の充実に努めています。今後も、保護者の皆様と連携を図りながら、進めていきたいと思っております。
- ・また、我々の教科指導力を始め、指導力の向上については、永遠のテーマであり、そのために、授業力向上研修や授業観察等の交流、及び教員間での指導方法や指導内容の共有等を行っていますが、今後も引き続き、研鑽に努めてまいりたいと思っております。

(2) タブレット活用について

- ・タブレットの活用については、昨年度途中より、各学校での1人1台端末の本格的な活用を積極的に推進することとして、導入されました。我々、教職員においても、その状況の中で、活用方法については、学びながら、工夫しながら、取り組みを進めているところです。その状況の中で、不十分な面等があり、保護者の皆様には、ご迷惑をお掛けすることもあり、また子どもたちへサポートをしていただいたり、ご理解、ご協力をいただいていることに感謝申し上げます。タブレットの効果的な活用については、市とも連携しながら、学校として、現状を把握し、その改善に向けて取り組んでいきたいと思っております。

(3) 配付物の電子化（ペーパーレス化）について

- ・世の中が電子化（ペーパーレス化）へと少しずつ進む中、本校においても、会議資料等の電子化を進め、時間、労力や資源の節約等に取り組み、保護者の皆様への配付物についても電子化とさせていただきます。その際には、ご理解いただきありがとうございました。今回のアンケートで、「プリントの内容によっては、紙でもらった方が安心、見やすい。」等のご意見をいただきました。そこで、その状況の改善に向けて、行事予定及び学年だよりについては、紙でも配付し、また他の配付物についても、必要に応じて、紙での配付を検討したいと思っております。

(4) 学校行事等、学校生活全般について

- ・コロナ禍において、市の方針に則り、学校行事及び学年行事等、様々な教育活動を工夫しながら、子どもたちが生き生きと活動できることを最優先に取り組んでまいりました。子どもたちが楽しんでいる様々な学年行事や学校行事に、懸命に、そして元気に取り組んでくれていることをとても嬉しく感じております。今後も、コロナの感染防止に努めながら、工夫して教育活動を進めていきたいと思っております。保護者の皆様には引き続き、ご理解、ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

最後に、多くの保護者の皆様にご回答いただき、ありがとうございました。本アンケート結果、及びご意見を十分に踏まえ、今後の本校の教育活動に生かしていきたいと思っております。今後も、教職員一丸となって、教育活動を進めてまいります。

お子さんのことでご心配なことやご相談、また何かお気づきのこと等がございましたら、遠慮なく、学校へご連絡いただけたらと思っております。よろしくお願いいたします。